

令和7年度第1回母子保健対策小委員会

- 日 時 令和7年12月24日(水) 午後6時～午後6時50分
- 場 所 オンライン開催
- 出席者 19人
前垣委員長
松田・岡田・橋田・長田・大谷・岡本・戸川・中村・船木・美野・寺澤各委員
県家庭支援課：小倉参事監、遠藤課長、岡田課長補佐
健対協事務局：岡本事務局長、田中尚・田中貴両係長、廣瀬主事

挨拶 (要旨)

〈前垣委員長〉

当初スケジュールより遅くなったが、鳥取県乳幼児健康診査マニュアルの改訂に向けて各委員にまとめていただいた。本日はそのあたりを中心に共有し確認をしていきたい。

議 題

1. 鳥取県乳幼児健康診査マニュアルおよび5歳児健康診査マニュアルの改訂について

○身体診察

- ・将来的に小児科医以外の医師が診察されることを見据えて、受診票の記載項目に対して回答が異常を疑わせる内容であった場合、具体的に何を疑いどういう状態であれば紹介するのか、再検するのか、という内容を追加する。
- ・腹部エコーをコラムに追加してはどうか。東部

では実施する健診医もいる。

→健診マニュアルとしては標準化されたものが良い。多くの医師が実施しているものを入れた方が良いため今回は入れない。

・X脚、O脚の表現を修正、パーセントイルやSD標記の混在を統一、バルーニングの削除などの訂正を行う。

・頭部変形について。鳥大でも頭のかたち外来が開始されるようになる。頭部変形は健診項目として引っかけの項目ではなく、あくまでも美容目的となる。ただし健診時に相談を受けるケースがあることから、3～4か月健診のコラムに入れてはどうか。文面は検討していただく。対応をしている医療機関名はマニュアルには入れない。

○神経診察

・学会における疾患名が変更となっている。
ウエスト症候群、點頭てんかん→「乳児てんかん」

ん性スバズム症候群」

発達障害→「神経発達症」

注意欠陥多動性障害→「注意欠如多動症」

専門医以外では旧名使用がまだ多いこと、健診マニュアルは一般小児科医・内科医が使用されることを考慮し、「旧疾患名」（新しい疾患名）と併記する。

- ・新生児聴覚スクリーニングのコラムに、先天性サイトメガロウイルス感染症の検査、SMA（脊髄性筋萎縮症）について、拡大マスキリング検査を追加する。その後の対応についても追加する。

以上について各担当者で再度追加、訂正し小委員会で確認していく。

なお、5歳児健康診査マニュアルは、昨年度国のマニュアルが示され本県のマニュアルも改訂が必要になることから、まずは前垣委員長でたたき台を作成していただく。

また、1か月健診も同様に国のマニュアルが示されており改訂が必要になるが、現在改訂中の鳥取県乳幼児健康診査マニュアルには反映させず、来年度に改訂していく。

時 期	内 容
令和8年1月	各担当の改訂案をまとめる
令和8年2月	第2回小委員会開催 全体で協議
令和8年3月	鳥取県乳幼児健康診査マニュアル（改訂版）完成

2. 乳幼児健診体制に係る今後の対応について：

鳥取県家庭支援課

- ・実施体制について

健診医の不足枠の調整や代替対応の円滑化を目的に健診医および必要時に協力いただける協力医の一覧化を進めている。今後の推進に向けて、各地区の小児科医が集まる会等において状況を説明させていただき、ご意見を伺いたい。

- ・健診実施方法について

5歳児健診において、国において悉皆方式だけでなく二段階方式（事前のアンケートなどで発達などに課題がある児を対象にした方法）の実施も対象に含まれたことを踏まえ、改めて各市町村の実施方法を整理し、体制整備を目指していく。

- ・5歳児健診スキルアップ研修について

小児科医、および内科医向けの研修会とあわせて、保健師・保育士・福祉専門職のための人材育成（スキルアップ）を目的とした研修会を開催する予定。